

生駒市地域コミュニティ ICT活用事業補助金



地域活動の更なる推進や業務の効率化を図るため、情報通信技術（ICT）の活用に必要な事業を実施した自治会に対して補助を行う「生駒市地域コミュニティICT活用事業補助金」が、令和7年度より、さらに手厚くなりました！

✓ 補助対象団体

生駒市自治連合会に属する自治会



✓ 補助金額

補助対象となる経費の2分の1（補助金上限25万円）

↑ ホームページはこちら ↑
<https://www.city.ikoma.lg.jp/0000028776.html#link-ict>

✓ 補助対象経費

1. ソフトウェアやサービスの導入経費及び使用料

⇒ 電子回覧板等のアプリ（結ネット等）や公式LINEの導入費や利用料

ご要望に応じて補助対象期間を拡充しました！

旧 事業開始月から申請年度末まで（経費の1/2）

新 事業開始月から12か月目までは経費の1/2、さらに13か月目からも経費の1/4を支給



2. インターネット環境導入経費

3. Wi-Fi環境の導入経費

4. インターネット回線使用料その他の通信費

5. ホームページの構築に係る経費

6. 1から5に係る導入研修費

7. セキュリティ対策に係る経費

※ パソコン、プリンタ、タブレット、スマートフォン、その他の機器（モデム、無線ルーターを除く）は対象外



✓ その他

1自治会、原則1事業とします（裏面の活用事例を参考にしてください）。

新規の事業が対象となります。予算がなくなり次第、終了となります。

実施を検討される場合は、下記へお問い合わせください。



裏面もご確認
ください

お問い合わせ
地域コミュニティ推進課 自治振興係
電話0743-74-1111（内線2070）

活用事例①

LINEで自治会公式アカウントを開設

例えば大雨による避難情報やイベント案内など、大切な情報を素早く共有し、双方向でのコミュニケーションにも使える自治会公式LINEを開設する。

- ・誰でも簡単に開設できる
 - ・普段LINEを使っている人なら「友だち」になるだけですぐに使える
 - ・一斉送信やセグメント配信（役員だけなど属性を絞って配信すること）も可能
 - ・動画配信による効果的なイベント案内や、クーポンの配信もできる
- （想定される補助対象経費）
- ・LINEの月額利用料金
 - ・運用サポートにかかる経費 など

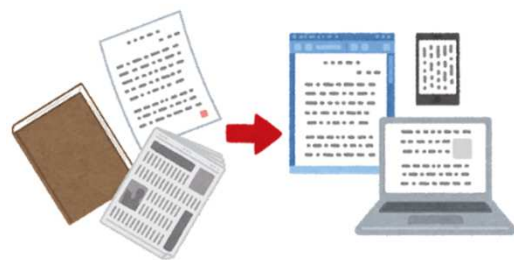


活用事例②

自治会内の電子回覧板アプリの導入

例えば“結ネット”などの電子回覧板アプリを導入して、役員が自治会内の情報や市からの情報を会員宛に電子データで配信する。

- ・災害時の安否確認ができる
 - ・行事の出欠確認やアンケートの収集もスムーズになる
 - ・既読確認による高齢者の見守りができる
- （想定される補助対象経費）
- ・アプリの導入経費及び使用料
 - ・アプリの運営のための導入研修費、保守・サポート費 など



活用事例③

自治会館のインターネット環境の整備

例えば会議をオンラインで開催できるよう、自治会館にネット環境を整備する。

- ・役員会や班長会をオンライン会議でおこなう。
 - ・会議資料を電子データで作成し、配信する。
- （想定される補助対象経費）
- ・インターネット環境、Wi-Fi環境の導入経費
 - ・インターネット回線使用料その他の通信費 など

